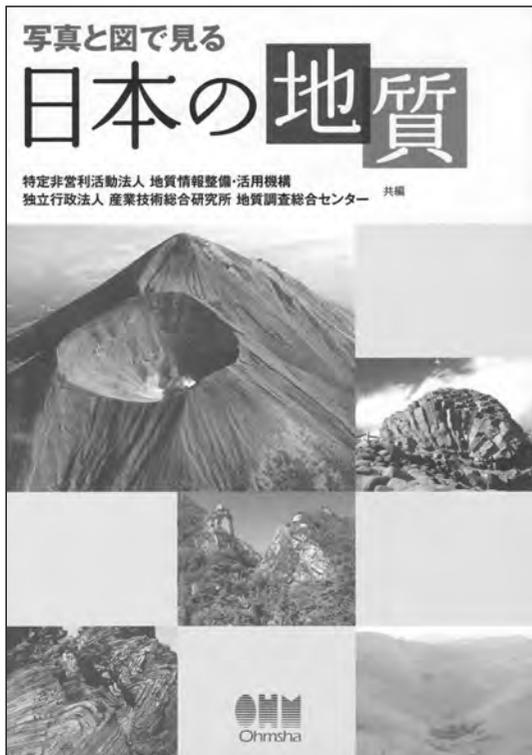


書評

写真と図で見る日本の地質

地質情報整備・活用機構，
産総研地質調査総合センター編
2009年3月発行
A5判162p
オーム社
2,800円＋税

先に発行されていた「日本列島ジオサイト地質百選」の姉妹本と言える本である。この本の主な内容は全国各地の地質名所の紹介であり、北海道地方から九州地方まで8地方について各7-9件、計65件の多彩な地質名所が採り上げられている。これらの中には第一次・第二次の選定で日本地質百選に選ばれたものも含まれており、地方ごとに古い方から新しいものへと並べられている。一つ一つの地質名所を見開き2ページで紹介し、左ページに地質露頭のカラー写真、右ページに解説と露頭周辺の100万分の1地質図（産総研地質調査総合センター、1992）を配している。露頭写真は、地元自治体の提供によるものを除いては主に地質研究者が撮影したものである。いわば素人写真であるが、さすがに地元をよく知る地質研究者により厳選された好露頭の良い写真が揃っており、地質名所の臨場感ある紹介となっている。解説は地質学の専門家でない一般向けに平易に書かれている。巻頭には日本列島の地質の成り立ちについての概説がされているほか、7つのColumnで地質学の基礎知識やうんちくが彩りを添えている。また、各地質



名所の地質時代や地層岩石の種別が分類されていて分かりやすい。

なお、近畿地方6の「有馬-高槻」の写真1と2が入れ替わっているので読者は注意されたい。100万分の1地質図には拡大率によっては鮮明さに不満足なものも見受けられる点は惜まれる。

（産総研 地質情報研究部門 竹内圭史）